

平成26年度(平成26年3月～平成27年2月)

エコアクション21

環境活動レポート



エコアクション21

認証・登録番号0008365



高橋電業株式会社

福岡県福岡市博多区井相田3-12-21
TEL (092)581-5305 (代)
FAX (092)581-5385
ULR : <http://www.takahashi-elec.co.jp>

平成27年 4月 15日 発行

環 境 方 針

〈基本理念〉

近年の環境問題への関心がますます高まっている中、弊社にて取り扱う電気エネルギーと温室効果ガス排出は、非常に深い関わりを持っています。弊社では環境問題＋省エネに積極的に取り組みを進めてまいります。

〈行動指針〉

1. 次の事項に取り組みます。

- (1) 電気使用量の削減および車両のエコドライブ推進による燃料使用量の削減
- (2) 廃棄物等の再資源化
- (3) 水使用量の削減
- (4) 含有物(特定化学物質)の保管・管理の徹底
- (5) 原材料及び事務用品のグリーン購入の推進
- (6) 省エネルギー関連工事の受注拡大

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

制定日：2011年 9月12日
改訂日：2014年 3月 1日

高橋電業株式会社
代表取締役 高橋 政隆

1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	高橋電業株式会社 代表取締役 高橋政隆
(2)所在地	本社 〒812-0881 福岡県福岡市博多区井相田3-12-21
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	代表取締役 高橋政隆 環境事業部 高橋勝則 TEL 092-581-5305
(4)事業内容	一般電気工事、空調設備工事、太陽光発電装置設置工事 LED工事、省エネ診断事業
(5)事業の規模	総売上額 :454百万円 従業員数 :15名 事務所床面積 :165㎡ 倉庫床面積 :80㎡
(6)事業年度	3月～翌2月
(7)法人設立年月日	昭和51年6月14日
(8)資本金	2,000万円

2. 認証・登録の対象組織・活動

(1)事業所名 代表者氏名	高橋電業株式会社 代表取締役 高橋政隆
(2)関連事業所	なし
(3)活動	一般電気工事、空調設備工事、太陽光発電装置設置工事 省エネ診断事業、冷凍機設備工事業、LED照明設置工事業
(4)対象外事業所	なし

3. 環境目標とその実績

平成26年度(平成26年3月～平成27年2月)

環境目標		目標 実績	単位	H25年度 (実績値)	H26年度 (実績値)	達成率	H27年度 (実績値)	達成率	H28年度 (実績値)	達成率
二酸化炭素排出量の削減 (事務所)	全 体	目標	(kg-Co2)	—	23,960以下	—	23,718以下	—	23,476以下	—
		実績	(kg-Co2)	24,202	21,210	111.5%				
	電 気	目標	(kg-Co2)	—	8,997以下	—	8,906以下	—	8,815以下	—
		実績	(kg-Co2)	9,088	9,303	96.6%				
	ガソリン	目標	(kg-Co2)	—	13,797以下	—	13,657以下	—	13,518以下	—
		実績	(kg-Co2)	13,936	11,691	116.6%				
灯 油	目標	(kg-Co2)	—	1,139以下	—	1,127以下	—	1,116以下	—	
	実績	(kg-Co2)	1,150	135	188.3%					
二酸化炭素排出量の削減 (建設現場)	全 体	目標	(kg-Co2)	—	36,513以下	—	36,144以下	—	35,776以下	—
		実績	(kg-Co2)	36,882	34,929	104.3%				
	ガソリン	目標	(kg-Co2)	—	26,300以下	—	26,035以下	—	25,769以下	—
		実績	(kg-Co2)	26,566	32,441	76.7%				
軽 油	目標	(kg-Co2)	—	10,213以下	—	10,110以下	—	10,007以下	—	
	実績	(kg-Co2)	10,316	2,489	175.6%					
廃棄物排出量の再資源化 (事務所)	目標	(%)	—	再資源化率95%以上	—	再資源化率95%以上	—	再資源化率95%以上	—	
	実績	(%)	再資源化率 98%	再資源化率 97%	100.0%					
廃棄物排出量の再資源化 (建設現場)	目標	(%)	—	再資源化率95%以上	—	再資源化率95%以上	—	再資源化率95%以上	—	
	実績	(%)	再資源化率 100%	再資源化率 100%	100.0%					
水使用量の削減(事務所)	目標	(m)	—	399以下	—	395以下	—	391以下	—	
	実績	(m)	403	392	101.8%					
化学物質の適正管理	目標		—	保管・管理の徹底	—	保管・管理の徹底	—	保管・管理の徹底	—	
	実績		保管・管理の徹底	保管・管理の徹底	100%					
グリーン購入	目標		—	再生紙割合 80%以上	—	再生紙割合 80%以上	—	再生紙割合 80%以上	—	
			—	文具、部材等の適合品購入	—	文具、部材等の適合品購入	—	文具、部材等の適合品購入	—	
	実績		30,000枚(全体) 30,000枚(再生紙)	27,000枚(全体) 27,000枚(再生紙)	100%					
省エネルギー関連工事 の受注拡大	目標		—	LED照明工事(20件) デシカント空調工事(2件)	—	LED照明工事(20件) デシカント空調工事(2件)	—	LED照明工事(20件) デシカント空調工事(2件)	—	
	実績		LED照明工事(19件) デシカント空調工事(2件)	LED照明工事(45件) デシカント空調工事(2件)	223.8%					

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.612kg-Co2/kwh(H24年度九州電力)を使用しました

二酸化炭素(事務所、現場)、水については、達成率=(1+((目標-実績)/目標))x100(%)

廃棄物(事務所、現場)は目標値以上であれば、達成度=100%、目標値の半分以上であれば、達成度=50%、半分以下なら、達成度=0%

化学物質、グリーン購入(文具、部材等の適合品)については、十分実施していれば達成率=100%、実施内容が不十分であれば達成率=50%、未実施であれば、達成率=0%

グリーン購入(再生紙)は達成率=(再生紙枚数/全体枚数)x100(%)

自社の施工・販売・提供する製品及びサービスに関する目標については、達成率=(1+((実績-目標)/目標))x100(%)

4. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

(1) 平成26年度(平成26年3月～平成27年2月)

取組対象	活動項目	実施状況	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減 (1%△)	・冷房温度 28℃ ・暖房温度 20℃ ・不要照明の消灯	○	×	倉庫の1部屋を仮住居としたので、一時的ではあるが使用量が増加 (今後は削減可能と判断するので変更なし)
ガソリン使用量の削減 (1%△)	・エコドライブの推進	○	×	使用量のみでは未達成(現場) (現在、走行距離による削減効果を検証中のため変更なし)
軽油使用量の削減 (1%△)	・エコドライブの推進	○	○	使用量のみでは未達成 (現在、走行距離による削減効果を検証中のため変更なし)

(2) 廃棄物排の再資源化

取組対象	活動項目	実施状況	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
一般廃棄物再資源化率 (95%以上)	・再生紙の利用 ・ごみの分別	○	○	再資源化率を見直し達成 (今後の変更なし)
産業廃棄物再資源化率 (95%以上)	・再利用、リサイクルの活用 ・ごみの分別	○	○	達成 (今後の変更なし)

(3) 水使用量の削減

取組対象	活動項目	実施状況	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
水使用量の削減 (1%△)	・洗車時の節水を推進 ・手洗い時の節水を推進	○	○	達成 (今後の変更なし)

(4) 化学物質の適正管理

取組対象	活動項目	実施状況	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
管理・保管	・保管量の把握 (月1回以上の確認)	○	○	月1回以上の確認で、保管量の把握ができた (今後の変更なし)

(5) グリーン購入

取組対象	活動項目	実施状況	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
グリーン購入	・再生紙の購入 ・文具、部材等の適合品購入	○	○	100%再生紙使用、ECOマーク付文具の購入、 (今後の変更なし)

(6) 省エネルギー関連工事の受注拡大

取組対象	活動項目	実施状況	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
省エネルギー工事	・LED照明工事の提案・推進 ・天井空調工事の提案・推進	○	○	達成 (太陽光パネルの提案、推進については、売電が主流で省エネの観点から外れるので項目削除)

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並び違反、訴訟等の有無

当社の平成26年度(平成26年3月～平成27年2月)

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物処理法	事務系一般廃棄物、産業廃棄物
家電リサイクル法	一般家庭用エアコン
小型家電リサイクル法	蛍光灯

平成27年3月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

二酸化炭素排出量は全体的には、クリアできたが、事務所の電気使用量、現場でのガソリン使用量が増加している。電気使用量については、半年ほど倉庫の一室を仮住居として使用したため、その分が増加となったが、現在は倉庫に戻しているため、今後は削減されると考えます。

現場のガソリン使用量をはじめ、軽油使用量や事務所のガソリン使用量は本年度より走行距離を確認して、走行距離に対する使用量で単位排出量を算出して増加があるかを判断します。

事務所のガソリン使用量は営業時に公共手段(電車、バス)の利用を心がけ減少できた。現場の軽油使用量は、主にトラックの使用なので撤去品、現場発生ゴミの現場への直接回収や現場への資材運搬を業者に依頼することで、大幅削減ができた。

今後もリサイクル、分別を正しく行い、適正処理で再資源化率の向上を目指したい

7. 今後の取組み

今後は、

- ・二酸化炭素排出に大きな影響がある、電気使用量の削減
- ・エコドライブ推進により、ガソリン等の燃料使用量の削減
- ・地域貢献として、地元イベントへの協力

を重点課題として取組みます

8. その他の環境活動の紹介

(1)町内の夏祭りイベントにおける電気工事

(2)地元中学生に対して職場体験を実施した

(以上)